

平成24年度 災害ボランティア養成研修会②

11月12日(月)「炊き出し訓練」

社会福祉協議会南側の駐車場を使って、初めての試みで「炊き出し訓練」を開催し、ボランティア65名が参加し、町が所有している造水機の説明や体験、ハイゼックス体験やアルファ米の試食などを行いました。

川やプールの水をろ過することで飲料水になる造水機の使用法の体験や、神戸町赤十字奉仕団の方々をリーダーに各班に分かれて1人1つハイゼックスを作りました。また湯(水)を入れるだけで食べられるアルファ米を作る体験をし、それぞれを試食して食べ比べました。

災害時の食事について、防災に対する知識の向上、またボランティア同士の連携につながりました。

川西ボランティアの会、神戸町食生活改善協議会の方の協力で参加者に豚汁を作り、振る舞いました。



造水機



ハイゼックス



アルファ米



みんなで試食!



★次回は平成25年2月14日(木)に「災害図上訓練 (DIG講習)」を予定しています。多くの方々のご参加、ご協力をお願いします。



★ご寄付ありがとうございました★
川西ボランティアの会(代表平田勇様)より、神戸町ボランティア連絡協議会に対して金10,000円のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。神戸町ボランティア連絡協議会の活動に有効に活用させていただきます。

平成24年度 ふれあいいきいきサロン情報交換会

平成24年11月22日(木)に、神戸町役場南庁舎3階大会議室において、ふれあいいきいきサロン情報交換会を開催しました。



神戸町社会福祉協議会では、地域において孤立感を抱える高齢者や閉じこもりがちの高齢者が地域で交流をもち、いきいきと生活できるような仲間作りを目的にふれあいいきいきサロン事業を推進しています。今年度は22地区の申請があり、サロンの担い手の方々を対象に、各地域でのいきいきサロン活動がより充実したものになるよう、情報交換会を行いました。

情報交換会では、各地区において実践している状況を自由に話していただき、サロンの内容や周知方法など情報を共有することができました。

続いて『地域の身近なふれあいの場』～「にこにこサロン」と「ひろい百円喫茶」の取り組み～と題し、大垣市青墓校区昼飯二区自治会の方々に実践発表をしていただきました。地域の身近なふれあいの場としてサロンを公民館で開催し始め、平成21年4月から百円喫茶も開設していると話されました。引きこもりがちだった地域の方から楽しみにしているという声を聞くこともあるそうです。



町内外の地区で実施されているサロン活動を知る機会にもなり、地域での活動だけでなく、地域間での横のつながりやさらに多くの地域で開催されることにつながればと思います。